



生きる

自分たちの学校は 自分たちで創る



自分たちの学校は自分たちで創る ～ 生徒総会より ～

6月5日(金)生徒総会へ行きました。2日のために何日も準備としてくれた執行部。そして委員長のみゆさん。本当にびっくりしました。そして当日も立派な運営。本当によくがんばってくれました。ありがとうございます。

今年の生徒会スローガンは『全カ疾風』です。一人ひとりが個性を光らせながら、様々なことに積極的に挑戦して、姿を目指すと。今こころみんむにいかざないと。そして具体的な一歩を。北中の新しい伝統へとつなげていくのです。今回も学校生活についての意見要望の時間は特に盛りあがりしました。学級から出された意見要望にかつ懸命に答へる執行部。委員長の様子がありました。また、「あつま運動」の取組にかつ提案されました。学校全体であつま運動の展開されることを期待しています。意見はたくさん出ましたが、議論から最適解と導くまでには時間がかかりました。回答の持ちこたはりました。執行部。委員長にはおうびとふんばり。自分たちの考え。思いを再度整理して提案をお願いします。

およい学校づくりのために4人組が真剣に考へ臨んだ生徒総会でした。

学校と家庭の信頼関係を築くために



担任として、1つ、時々思ふことがあります。
何かの学校で問題が起きたりすると担任は家庭訪問として電話したりします。しかし、家庭に連絡するのは、決して悪いことばかりの時ばかりとは限りません。

よく電話口で保護者が言われました。「...先生、うちの子、何で、ちやいましてか？」
担任は貝えませんが、声のトーンで何となく表情が読みとれます。「...え、今日はOOさん、自分からOOさんで生徒会役員に立候補してくれました。本当に嬉しかったです。」と電話した理由を云えらると、保護者の方は安心されたのか、そのお返し嬉しみに我が子の話をしてくれました。

やはりすると、学校は何かの問題やトラブルがあった時に連絡してくる。勿論われがらを叩くわけではないです。でも、私たち生徒指導等で何かあれば、保護者の理解と協力を得るために報告する必要があります。どちらでも大丈夫です。我々教師も、子どもの頑張りと努力は、必ず保護者に伝えることが大切です。

学校と家庭が十分に信頼関係を築き、大人が子どもの頑張りと努力、励まし申し送り取組を推進していきます。

ミスは後始末、仕方にミスでなくなる ～ 中間テストを終えて ～



1年生のみんむ、初めての定期テスト、びっくり！2年生のみんむ、慣れに甘んじてはいけません。3年生のみんむ、今回の範囲の受験の時に出るおもしろい！

さてさて、テストの結果が持ち帰られてくるでしょう。さあ、答案用紙のどこを見ようか？...点数？まあ、そんなら、一番は『X』を見よう。どうしてまちがったのか、理解できているのか、わからないか...。今回のテストがゴールではないのだから、まちがったところ、ミスしたところを放っておくことは、永久にミスとして残るから、さあ、やり直さないと、ほんとに怖いことです。だから『X』に目をつけること。ミスは後始末の仕方にあり、ミスでなくはります。